

薬学研究科（修士課程）

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

健康薬科学専攻の修士課程では創薬科学、健康科学、基礎薬学と医療薬学を包括した総合的研究・教育プログラムを展開することで、高度化医療に対応できる薬剤師のみならず、医療に対する深い知識と問題解決能力を有する多様な分野の専門職業人の育成を行う観点から、本専攻にて学修し研究するのに望ましい以下のような資質を有する人材を受け入れる。

1. 医療や科学に関わる人として、高い倫理観と豊かな人間性を備えている。
2. 学修に意欲があり、研究に興味と熱意がある。
3. 薬学あるいは関連する科学領域における基礎的学力がある。
4. 薬学部以外の出身者であっても、薬に興味を持ち、これを積極的に学び、研究する意欲がある。
5. 自らの研究をもって国民の健康と福祉に貢献していきたいとの意思がある。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本専攻は、健康創薬科学プログラムと総合薬学プログラムの2プログラムで構成されている。

健康創薬科学プログラムは、理学、工学、薬学（薬科学科、旧4年制）、スポーツ科学、農学、栄養学等の理系学士が主たる対象者であるので、学際的な健康科学領域において活躍できる人材を輩出することを目標として下記のように教育課程を編成している。

1. 薬学に対する包括的理解を支援するため、薬学に関する基礎を学修できる科目を配置
2. 健康科学、創薬科学、医療薬学に関するテーマを多面的に学べるようにオムニバス形式の特論科目を配置
3. 健康科学、創薬科学、医療薬学に関する課題研究を通じて、学際的な健康科学領域において活躍できる実践力を養う演習科目と特別実験科目を配置

総合薬学プログラムは、現場薬剤師が主たる対象者であるので、先導的薬剤師として地域に密着した医療貢献ができるようになることを目指して下記のように教育課程を編成している。

1. 最新の薬学を学べるリカレント教育科目を配置
2. 最先端医・薬学を体系的かつ系統的に学べる特論科目を配置





3. 課題研究活動を通じて医薬情報構築および評価能力を培い、先導的薬剤師として医療貢献ができる実践力を養う演習科目と特別実験科目を配置

❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

健康創薬科学プログラムまたは総合薬学プログラムにおける実験・演習等所定の単位を修めることにより、本研究科の理念・目的に即する人材の域に達し、下記の資質を有するものに修士（健康薬科学）の学位を授与する。

1. 健康薬科学の領域における知識と問題解決能力を有する。
2. 将来も自らが研鑽し、より高度な知識・技能・態度を身につけようとする意欲を有する。
3. 薬学を通して、国民の健康維持に積極的に貢献する姿勢を有する。

